

## JGOG1072S-A2 試験：「子宮頸癌術後中リスク患者における術後療法に関する治療効果の検討」に関するご案内

### 1. 研究の対象

JGOG1072S 試験で情報を収集した患者さんが対象となります。その中で術後再発リスクが明らかに高い患者さんは除いて解析を行います。

### 2. 研究目的・方法

JGOG1072S 試験で収集した情報をもとに、系統的統計解析を行うことにより、子宮頸癌患者さんの中で、術後療法を行うことの治療的な意義を検討するとともに、術後療法により良好な治療効果を得ることが期待できる患者さんの特徴を検討することを目的として行います。

研究期間は、2021年4月～2022年12月です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

JGOG1072 試験で収集された情報のうち、下記の診療情報を使用します。

手術に関する情報、進行期などの病気に関する情報、手術前の患者さんの状態に関する情報、治療開始日、術後療法の種類、治療効果や経過

### 4. 外部への試料・情報の提供

JGOG1072 試験に参加された患者さんについて、登録された施設から提供された情報を使用します。今回、新たな情報収集は行いません。

また、提供された情報には、患者氏名、住所、参加各施設の固有の番号(患者 ID 番号など)などの個人を特定しうる情報は含まれていません。

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供されたデータは、研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸癌委員会

委員長：武隈 宗孝

研究代表者：東京大学医学部附属病院 田口 歩

### 6. お問い合わせ先

患者さんが特定できる情報については匿名化されておりますが、あなたの情報を提供することを希望されないときや、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

東京大学医学部附属病院 田口歩

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL：03-3815-5411 FAX：03-3816-2017